

ディボーション質問表

17日（日）先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かせたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

18日（月）ヨシュア記5章

1. カナンの地に入ったヨシュア達には勝利が約束されていました。彼らが足の裏で踏むところはことごとく彼らのものとなるのです。あなたは試練や迫害が来たときに勝利者として振る舞っているでしょうか？ それは周りの人々の反応を見ればわかります（1節）。
2. イスラエルがその地の産物を食べた翌日から、天からの食物、マナが止み、彼らに二度と降る事はありませんでした。旅の間は主に「マナ」と時々降った「うすら」だけの食事メニューでしたが、カナンの地に入ってからはいろいろな食事をするようになりました。福音にはマナの中心（中心）な部分とカナンの地の食事（多様）のような部分があると思われます。福音の中心部と多様部にはどんなものがあるか、自分なりに書き出してみてください。

19日（火）ヨシュア記6章

1. カナンの地における最初の戦闘がエリコの戦いでした。この戦いの中で印象に残る点を二、三あげてください。その中であなたの実生活に役だつ事柄は何かありますか？
2. この章には神の恵みと神の義が共に表されています。あなたはどこにそれぞれの象徴を見るでしょうか？

20日（水）ヨシュア記7章

1. ここにはアイとの戦いにおけるイスラエル側のミスがいくつか書かれています。挙げてみてください。
2. 個人の罪がイスラエル人全体に影響を及ぼしました。律法の時代だったのでアカンは処刑されましたが、今日ではとりなしの祈りによってその罪を認め、赦し合う事ができます。あなたはどんなグループに対して責任を負っているでしょうか。ラハブに対する約束は実行され、彼女らは助かりました。さらにイスラエルの中に住むことも許されました。彼女とその家族のその後の生活を想像してみましょう。またエリコは対照的に徹底して滅ぼされました。

21日（木）ヨシュア記8章

悔い改めと償いは、回復を与える

1. 悔い改めと償いをしたイスラエルの民に神様はどうされましたか（1節）？
2. 一度失敗したヨシュアはどのように戦いましたか（2～35節）？
→「失敗を通して天の父の聖さと哀れみを体感できることを知っているだろうか？ 失敗から学び、自己の成熟に役立っているだろうか？」

22日（金）ヨシュア記9章

天の父の知恵を仰がないと、うそとわなにはまりやすい。

1. 隣国が集結し、計略をめぐらせました。その時、ヨシュアはどうしましたか（14節）？
2. 計略を企てたことを知ったヨシュアはどのように対処しましたか（26節）？
→「うそとわながはびこる人生で、神さまの知恵と導きを仰がないと危険であることを承知しているだろうか？ 人を陥れるような人々に対しても誠実である寛容さを持っているだろうか？」

23日（土）ヨシュア記10：1－27

自然を支配している神が共にいる。

1. イスラエルのためにだれが戦っているでしょうか（1～14節）？
→「自然を支配する神からの恩恵を見逃さず、利用しているだろうか？ あるいは鈍感であろうか？」